

シンポジウム

「特定健診・特定保健指導の普及および推進について」

効果的な保健指導事業と人材育成

ー東京都健康づくり・保健サービス人材育成事業の取組からー



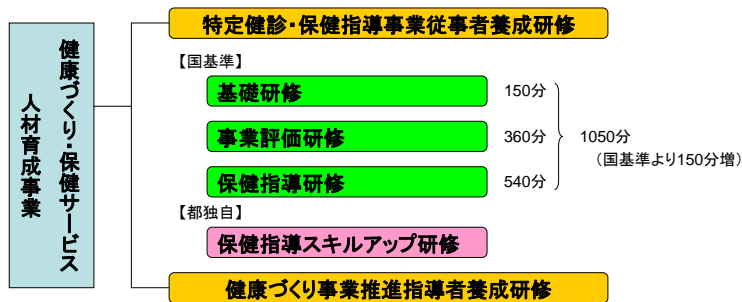
東京都福祉保健局保健政策部健康推進課 二宮博文

報告内容

1. 健康づくり・保健サービス人材育成事業 概要
2. 特定健診・保健指導事業従事者養成研修について
3. 研修実績(アウトプット(事業量)評価)
4. 研修アウトカム評価の試み
(研修評価シート)(保健指導事後評価アンケート)
5. 研修の改善(平成23・24年度)
6. 研修内容・体制の充実に向けて

1. 健康づくり・保健サービス人材育成事業 概要

- (1)実施主体:東京都
- (2)委託先 :公益財団法人東京都福祉保健財団(事業の運営)
- (3)開始年度:平成19年度
- (4)事業目的:東京都健康推進プラン21新後期5か年戦略に基づき、下記の人材育成を実施。
 - ①特定健診・保健指導に従事する人材の育成
 - ②地域・職域における健康づくり事業の指導者の育成
- (5)研修体系(平成20年度から*):



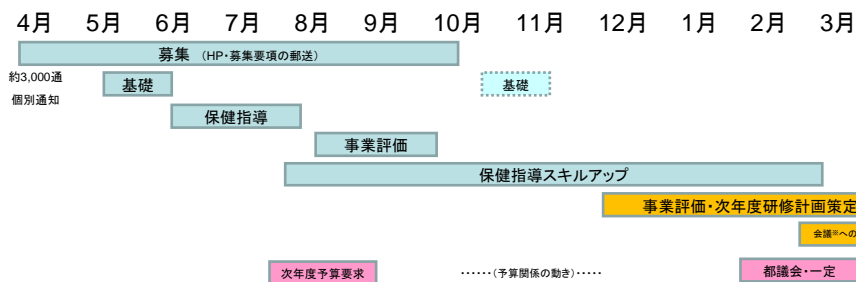
※平成19年度は準備事業の位置づけ

2. 特定健診・保健指導事業従事者養成研修について

(1)事業年表

平成19年度	準備事業の実施
平成20年度	本格実施 研修ガイドラインに基づく研修(「基礎研修」・「事業評価研修」・「保健指導研修」の3領域)の実施 保健指導研修修了者への「フォローアップ研修」の実施
平成21年度	フォローアップ研修を「保健指導スキルアップ研修」に名称変更
平成22年度	本格実施後3か年の実績まとめ 事後評価アンケートの実施 ⇒今後2か年の事業の進め方を整理
平成23年度	研修内容の見直し ・研修ガイドラインに基づく研修 ⇒規模縮小 ・保健指導スキルアップ研修 ⇒規模拡大 等

(2)年間スケジュール(平成24年度)



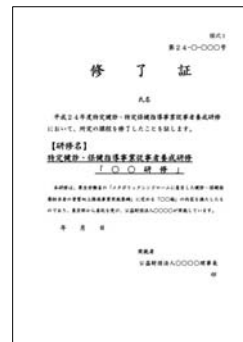
2. 特定健診・保健指導事業従事者養成研修について

(3) 研修の対象者

基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の区市町村の専門職及び事務職 ・都内に所在する医療保険者の専門職及び事務職 ・都内に所在する特定保健指導機関の専門職及び事務職
事業評価研修	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の区市町村(国民健康保険主管部及び保健衛生主管部)の事務職、専門職 ・都内に所在する医療保険者の事務職、専門職
保健指導研修	<ul style="list-style-type: none"> ・都内の区市町村の専門職 ・都内に所在する医療保険者の専門職 ・都内に所在する特定保健指導機関の専門職
保健指導スキルアップ研修	下記の2項目を満たす者 ① 平成20～23年度に「保健指導研修」を受講し、修了証を交付された者 ② 現在、東京都内の特定保健指導実施機関(医療保険者、特定保健指導機関、区市町村)に所属している者

(4) 研修修了者へ修了証の交付

「基礎研修」「事業評価研修」「保健指導研修」において、遅刻、早退等がな
く受講した場合、修了証を交付。
ただし、「基礎研修」を修了していない場合、「事業評価研修」「保健指導研
修」の修了証は交付しない。



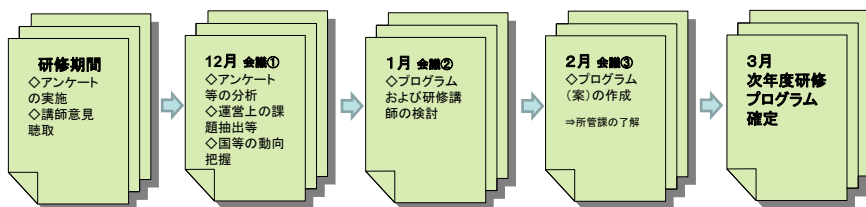
5

2. 特定健診・保健指導事業従事者養成研修について

(5) 研修の評価

- 年度後半に事業評価及び次年度計画策定のための会議を都(実施主体)と福祉保健財団(委託先)とで実施。
主なメンバー: 都 : 係長、保健師、管理栄養士、事務担当者
財団: 室長、保健師、管理栄養士、事務担当者
- 全受講生に研修終了後アンケートを実施。講義の理解度、満足度などを5段階評価。その結果を数値化して評価。
- 研修講師の研修後の意見を集約。
- 平成22年度 保健指導研修修了者へ「事後評価アンケート」を実施し、研修見直しに活用(後述)。

⇒講師や運営スタッフ、受講生の声を評価に反映。次年度の研修プログラムを作成。

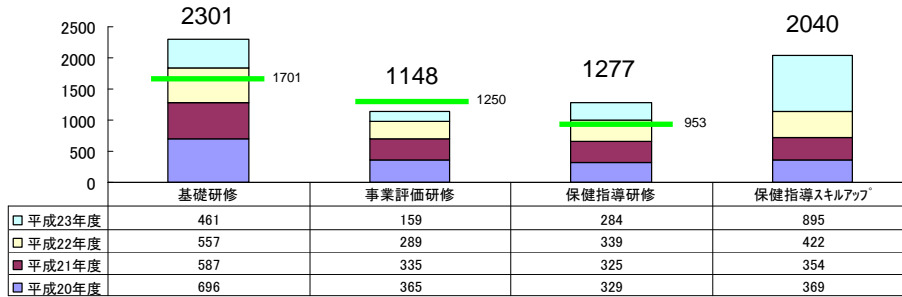


6

3. 研修実績(アウトプット(事業量)評価)

(1) 養成人数の累計 (本格実施(平成20年度)以降から4年間)

国調査及び医療保険者の数などから、国基準の研修の3年間(H20-H22)の養成目標人数を設定 —: 目標人数



(2) 未受講機関への働きかけの強化(平成23年度以降)

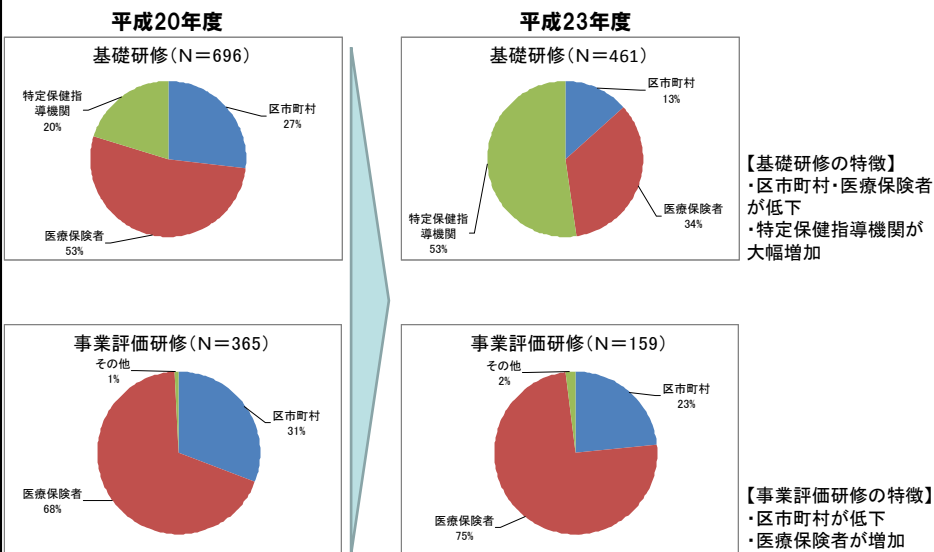
受講実績等から未受講機関を推計して、未受講機関への働きかけを強化

【平成23年度】	研修名	受講団体数	
		内初参加団体	初参加割合
	基礎研修	284団体	117団体 41.2%
	保健指導研修	202団体	73団体 36.1%
	事業評価研修	112団体	18団体 16.1%
	保健指導スキルアップ研修	215団体	71団体 33.0%

7

3. 研修実績(アウトプット(事業量)評価)

(3) 所属別-受講者層の変化



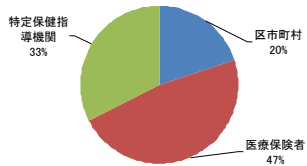
8

3. 研修実績(アウトプット(事業量)評価)

(3)所属別・受講者層の変化

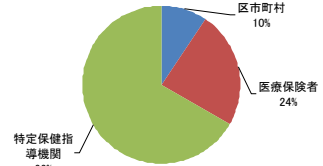
平成20年度

保健指導研修(N=329)



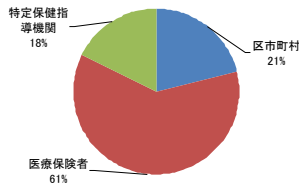
平成23年度

保健指導研修(N=284)

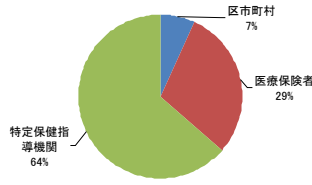


【保健指導研修の特徴】
・区市町村・医療保険者が低下
・特定保健指導機関が大幅増加

スキルアップ研修(N=369)



スキルアップ研修(N=895)



【スキルアップ研修の特徴】
・受講生が増加
・特定保健指導機関が大幅増加

4. 研修アウトカム評価の試み(研修評価シート)

- ◎研修のまとめ
講義内容概要、講師からのご意見・ご感想、研修終了後アンケート
- ◎研修終了後アンケートを集計、分析
- ◎会議時に使用。次年度の研修企画の参考として活用

平成〇年度 特定健診・保健指導事業者養成研修

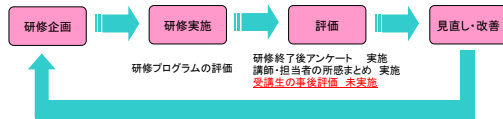
↓「丁度よい」割合 ※水準～活用まで単位は%。85%以下を赤字で表示

	講師	講義内容・講師感想	問題点及び課題	受講者数	研修終了後アンケート							今後の計画
					水準	理解	参考	手法	活用	評価	次回	
〇〇研修	〇〇〇〇			56	96	100	100	93	100			
	★★★			51	92	96	98	98	96			
	◇◇◇◇			53	100	100	100	100	98			
	■■■■			56	98	78	87	84	80			
	◆◆◆◆			57	97	98	90	86	80			

4. 研修アウトカム評価の試み(保健指導事後評価アンケート)

課題

- ◎受講生の研修終了後の動向が不明
事業の担当をしているのだろうか？
研修で得た知識は、現場で役に立っているのだろうか？
- ◎PDCAサイクルをより機能させるにはどうしたらいいのか



- ◎実績を数字で見せる必要性(予算要求、研修内容見直し等)

取組

- ◎保健指導研修修了者の事後評価(後追い調査)を行い、研修修了者の動向を把握する。
- ◎これまでの実績を経年的に把握する。
- ◎近隣県及び団体等の研修実施状況を把握する。



⇒すべて説明資料・報告書として活用。

11

4. 研修アウトカム評価の試み(保健指導事後評価アンケート)

(1)概要

- ①対象: 保健指導研修修了者(平成19~21年度) 702名
- ②目的: 保健指導研修修了者の状況把握及び研修の効果測定
- ③調査方法: 郵送調査法(自記式)
- ④調査期間: 平成22年7月中旬~下旬
- ⑤回収数(率): 334名(47.6%)

(2)主な結果

①本研修が業務の役に立ったか

とても役に立った	まあまあ役に立った	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	無回答
35.3%	61.7%	2.1%	0.6%	0.3%

⇒ 97%が役に立ったと回答

②本研修のどのようところが業務の役に立ったか

講義の内容・資料	研修体系	演習	受講生同士の交流	講義の進め方	その他	無回答
62.3%	21.0%	9.9%	4.3%	1.5%	0.3%	0.6%

③今後どのような研修を受けたいか(複数回答)

具体的な保健指導技術	制度の最新動向	事業評価	行動変容理論	他の実践事例	生活習慣病の病態生理	事業計画策定	精度管理
56.3%	52.4%	51.5%	44.3%	32.3%	28.1%	23.4%	18.0%

12

4. 研修アウトカム評価の試み(保健指導事後評価アンケート)

④今後受けたい研修内容(職種別)

	1位	2位	3位	4位	5位
保健師	事業評価	制度の最新動向	具体的な保健指導技術	行動変容理論	他の実践事例
管理栄養士	具体的な保健指導技術	事業評価	制度の最新動向	行動変容理論	生活習慣病の病態生理
看護師	具体的な保健指導技術	制度の最新動向	行動変容理論	事業評価	他の実践事例

⑤今後受けたい研修内容(所属別)

	1位	2位	3位	4位	5位
区市町村	事業評価	精度管理	制度の最新動向	具体的な保健指導技術	他の実践事例
医療保険者	制度の最新動向	事業評価	具体的な保健指導技術	行動変容理論	他の実践事例
特定保健指導機関	具体的な保健指導技術	行動変容理論	制度の最新動向	事業評価	生活習慣病の病態生理

(3)調査結果から明らかになったこと

- 本研修は、特定健診・保健指導事業の実践に寄与している。
- 本研修は、知識の習得に加えて、情報交換の場としても活用されている。
- 所属、職種によって異なるニーズが存在(継続した受講者のニーズ把握の必要性)。

⇒次年度以降の研修内容の改善等に活用

13

4. 研修アウトカム評価の試み(保健指導事後評価アンケート)

(参考)アンケート用紙

下記の質問にお答え下さい
各質問の該当する箇所の○を塗りつぶしてください

Q1 あなたが「保健指導研修」を受講した年度をお選び下さい。複数受講歴のある方は、一番最近の受講年度をお選び下さい。

平成19年度 平成20年度 平成21年度

Q2 あなたの研修受講時の業務内容を教えて下さい。複数の業務を担当していた場合は、主な業務ををお選び下さい。

- 特定保健指導実践
- ポピュレーションアプローチ担当
- 管理業務担当(委託管理)
- その他()

Q3 この研修に参加する決め手になったものは何ですか。をお選び下さい。

- 研修会場の利便性
- 参加費が無料
- 講師の人数
- 上司に勧められた
- 仕事上必要だった
- 勉強のため
- その他()

Q4 あなたにとって、当時の業務に本研修は役に立ちましたか。をお選び下さい。

- とても役に立った
- まあまあ役に立った
- あまり役に立たなかった
- 全く役に立たなかった

「とても役に立った」「まあまあ役に立った」と回答した方 → Q4-①へ
「あまり役に立たなかった」「全く役に立たなかった」と回答した方 → Q4-②へ

Q4-① 「とても役に立った」「まあまあ役に立った」と回答された方にお伺いします。そのように感じた理由は何ですか。をお選び下さい。

- 研修体系(基礎から保健指導及び事業評価までを網羅した研修)
- 講義の内容及び資料
- 講義の進めかた
- 受講生同士の交流
- 演習(グループワーク・ロールプレイ等)
- その他()

Q4-② 「あまり役に立たなかった」「全く役に立たなかった」と回答された方にお伺いします。そのように感じた理由は何ですか。をお選び下さい。

- 研修体系(基礎から保健指導及び事業評価までを網羅した研修)
- 講義の内容及び資料
- 講義の進めかた
- 受講生同士の交流
- 演習(グループワーク・ロールプレイ等)
- その他()

Q5 あなたの現在(平成22年4月現在)の業務を教えてください。複数の業務を担当されている場合は、主な業務ををお選び下さい。

- 特定保健指導実践
- ポピュレーションアプローチ担当
- 管理業務担当(委託管理)
- その他()

Q6 特定健診・保健指導事業に関して、現在、あなたにとって関心のある事例は何でしょうか。知りたいと思う理由をお選び下さい。

- 制度の詳細・今後
- 事業の計画・運営
- 行動変容理論
- 生活習慣病の病態・生理
- 具体的な保健指導技術(食生活・運動・たばこ等)
- 委託先の質の確保
- 事業評価・改善
- 他保険者等の取組

その他()

2

3

14

4. 研修アウトカム評価の試み(保健指導事後評価アンケート)

(参考)アンケート用紙

Q7 今後、特定健診・保健指導事業に關してどのような研修を受けたいと思いませんか。受けたいと思う項目を複数選び下さい。【複数回答可】

- 制度の最新動向
- 事業計画策定のノウハウ
- 行動変容理論に基づく実践法
- 生活習慣病の病態・生理
- 具体的な保健指導技術(食生活・運動・たばこ等)
- 委託先の選定・精査管理
- 事業評価・データ分析
- 他保険者等の実践事例
- その他()

Q8 東京都が実施する特定健診・保健指導事業従事者養成研修全体(基礎研修・保健指導研修・事業評価研修・保健指導スキルアップ研修)關して、ご感想等がございましたら記入下さい。

職業にあなたについて教えてください。

- 性別 男性 女性
- 年齢 20-29 30-39 40-49 50-59 60-69 70+
- 職種 医師 保健師 管理栄養士 看護師 その他()
- 所属 区市町村 医療保険者(健保・共済組合等) 特定保健指導機関(病院・診療所等) その他()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

5. 研修の改善(平成23・24年度)

(1)研修回数

- ◇受講実績を踏まえて、規定研修の回数を縮小。
- ◇これまで育成した人材の質の向上を目的とした保健指導スキルアップ研修を拡大。

基礎研修(2.5時間×5回) ■ ■ ■ ■ ■	⇒	基礎研修(2.5時間×4回) ■ ■ ■ ■
保健指導研修(9時間×6回) ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒	保健指導研修(9時間×5回) ■ ■ ■ ■ ■
事業評価研修(6時間×8回) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒	事業評価研修(6時間×4回) ■ ■ ■ ■
保健指導スキルアップ研修(8回) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒	保健指導スキルアップ研修(16回) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

※平成24年度のみ予定

追加基礎研修(2.5時間×3回)

■ ■ ■

(2)研修内容等

- ◇保健指導スキルアップ研修の目的を4つのカテゴリーに整理
「具体的な保健指導技術に関する研修」「行動変容が得にくい事例への保健指導に関する研修(行動変容理論)」「保健指導の評価に関する研修」「その他、最新の知見に関する研修」
- ◇未受講機関への働きかけの強化。未受講機関の優先受講、個別通知の工夫等。
- ◇研修において、講義形式ばかりでなく、グループワークや意見交換の時間帯を設定。
- ◇制度の見直しをにらみ、研修内容を工夫(追加基礎研修、各研修で最新の動向を意識的に発信)

6. 研修内容・体制の充実に向けて

(1) 研修事業における評価体制の整備

- ・アウトプット指標、アウトカム指標等を適切に組み合わせた評価の実施
- ・実現可能な評価体制

(2) 事件は現場で起きている

- ・研修担当者は実際の現場の生の状況・声を知る努力をすべし

(3) 研修担当者間の連携の強化

- ・事務職と専門職との連携
- ・同様の研修を実施する他団体等と研修や研修評価に関する情報交換、共有

(4) 今後の特定健診・保健指導制度の動向に注視

17



ご清聴いただきありがとうございました

研修に御協力いただいている講師の皆様方、研修運営に従事する財団スタッフの皆様方、その他、関係者各位にこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。

今後とも、よりよい研修事業の実施に向けて努力してまいります。

